

“ちいさな企業” 成長本部（北海道室蘭市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成25年11月5日（火） 16：00～18：00
- ・ 場所：北海道室蘭市（ホテルサンルート室蘭）
- ・ 「“ちいさな企業” 成長本部」行動計画等に関する取組をご紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主なご意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者等＞

- 新卒者を採用すると、新しい風が吹いて、会社の雰囲気が良くなる。今後も採用していきたいが、会社にとってリスクが大きい。何らかの支援があるとありがたい。
- メイン通りはシャッター街化している。住宅街のため、店を開きたくても人が住んでいるため簡単にはできない。若手にビジネスチャンスを与える場所を作ってほしい。
- 企業の経営を左右するのは、経営者の質。旭川にある中小企業大学校で勉強したことがあり大変役に立ったが、旭川まで通う時間を工面するのは大変。地方で出前セミナーのようなものがあれば良いと思う。
- 有資格者の人材不足から、閉校した土木系の学校の先生や、有資格者を社員にして、「測量塾」のようなものを開きたいと考えており、商業会議所等からアドバイスを受けながら準備を進めている。また、測量以外でも学びのメニューを増やせば、若年層の就職の幅も広がっていくのではと考えている。
- 客のニーズが多様化し、ネット販売の普及や、車社会が進んだことで、地元以外からも客を呼び込めるようになった。一方で、ドラッグストアの進出、インターネットの台頭等で卸業は難しくなったため、登別の温泉などで対面販売等をスタートさせた。
- 周りでは、景気回復を実感している人は少なく、むしろ消費税引き上

げで衣食住を守ることを優先する人が増えるため、美容業は大変。

- 起業時や、雇用時の支援メニューは多々あるように思うが、起業後、存続できるようなサポートがほしい。
- 補助金も、メニューはたくさんあるが、本当に広く使われているのか疑問。制度を作っている以上、使ってもらえば地域が良くなるという前提のはず。知ろうと思った人しか知ることができず、使えない、というのは問題。
- 代表が団塊の世代で、若い世代に承継する時期が来ている。若手社員にも業務の責任を持たせて、早い段階で技術者として1人前になってもらえるようにしている。

<支援機関等>

- 働く女性への支援について、三交代制勤務が多い業種だと、夜間保育への要望も多い。また、自前で保育所を持てる企業も多くはない。例えば、企業内に保育所を設置する際、支援などがあるとよいと思う。
- 社会保険料の負担が苦しい。これでは雇用も進まない。社会保障ができず、人材が集まらない企業も多い。
- 支援する我々が支援策を把握・理解できていないのが現状。中小企業の方はもっと知らない、支援策があることすら知らないのが現状ではないかとの問題意識から、北海道局と施策説明会を開催している。
- 補助金の不採用となった場合に足りなかった点のフィードバックがあると助かる。



以上